



ALAIN DELON

LE GANG

一輪の紅い薔薇に友情と愛をこめて——みじかくも苛烈な青春がかけぬける！

アラン・ドロ

友よ静かに死ね

監督ジャック・ドレー
ニコール・カルファン／アダルベルト・マリア・メルリ／モーリス・バリエ
原作ロジェ・ボルニッシュ〈邦訳・徳間書店刊〉



脚本アルフォンス・ブーダール／ジャン＝クロード・カリエール
音楽カルロ・ルスティケッリ〈サントラ盤・セブンシーズ・レコード〉
カラー作品 ■ 東宝東和提供／フランス映画



近日ロードショー

新宿プラザ劇場 (200)
9141

■ アラン・ドロンが暗黒街に還って来た！

パリの酒場に働く若く美しい女と、全フランスに名を轟かせるギャングとの出逢い——明日をも知れぬ運命の中につかの間の幸せを分かち合い、愛し合う2人。その2人を見守るギャング仲間の固い男の友情——

ジャン・ギャバン亡き後、名実ともにフランス映画界を代表するスター、アラン・ドロンが暗黒街に生きる男を演じてまさにその本領を発揮、自ら製作・主演した待望の「ギャング」ドロン最新作である。

■ 悲しい恋のヒロイン、ニコール・カルファン

世界のトップ・スター、アラン・ドロンと激しくも悲しい恋をくりひろげるヒロインは優しい笑顔にどこか寂しそうな影を落とすニコール・カルファン。「ボルサリーノ」でドロンと共演以来、本国フランスでも人気急上昇。今回はドロンが相手役として彼女を指名しての共演で、恋にすべてを捧げる女の美しさと哀しさが観る者の心を強くとらえるだろう。

■ ドロン＝ドレーのコンビで挑むベスト・セラーの完全映画化！

原作は「フリック・ストーリー」の著者である元警部ロジェ・ボルニッシュが書いたベスト・セラー小説。彼の豊富な経験の中、最も記憶に残るギャング団《シトロエン・ギャング》を題材にしたもので、彼は主人公のギャングを演じ切れるのはドロン以外にないと判断しこの作品の映画化権をドロンに贈ったのだ。

監督には「ボルサリーノ」「フリック・ストーリー」などドロンと組んだ作品をたて続けに発表し、暗黒街を描いては定評のあるジャック・ドレー。ドロンと呼吸のピッタリ合った演出はさすがだ。

そして歯切れのよい映像を生かすテーマ曲をイタリア映画音楽界の巨匠で「ブーベの恋人」のカルロ・ルスティケッリが担当。リリックな旋律がいつまでも心に残ることだろう。

■ 華麗な変身！《ニュー・ドロン》の誕生！

この作品、ドロン自身がのりによって今までにない力の入れよう。大人の魅力で女性ファンの熱いために

きを誘う彼が、この映画ではカーリー・ヘアに挑んだのである。世界中の若者に流行するヘア・スタイルを取り入れ大胆なまでの変身に挑む彼、少年のような奔放さで犯行を重ねる主人公のギャングを演じる《ニュー・ドロン》が早くも話題を巻き起している。

■ 投げられた一輪の紅い薔薇——それは宿命の恋のはじまり

1945年、パリがまだ戦争の傷跡を残していた頃。市内のバーで、連合軍のアメリカ兵と派手な立ち廻りを演じている男たちがいた。その中の男の一人が、あっけにとられているバーの女給マリネットに一輪の紅いバラを投げて去っていった。彼の名はロベール。マリネットのういういしさに心を引かれていたのだ。〈花こぼし〉は情熱。紅い一輪の薔薇が2人の心に恋の炎を燃え上がらせた。

■ 全フランスを震えあがらせた《シトロエン・ギャング》！

ロベールと恋に陥ちたマリネットは彼とその仲間が今フランス中で評判の《シトロエン・ギャング》だと知った。愛車シトロエンを駆使する彼らは、大胆な計画をたてるロベールを親分格に、「マンモス」のルシアン、「機械屋」レイモン、「めかし屋」マヌー、それに「大男」ジョーの5人組。彼らは絶妙のチーム・ワークで次々と犯行を成功させていった。

■ この幸せを放したくない——マリオネットは幸福だった

ルシアンの隠れ家には半身不随の老ギャング、レオンと、ロベールを実の息子のように愛するフェリシアがいる。マリネットはフェリシアにも気に入られロベールの幼なかった頃のことなどを話してもらった。その傍では緑に包まれて愛犬と遊ぶロベール。マリネットにはすべてがいとしかった。

この幸せが続いたらどんなに素敵だろう……

■ ロベールは笑顔を残して出かけていった……

その日、仲間と国鉄の金庫を襲ったロベールは仲間とはぐれて警察に追われ、目くらま駅舎の屋根を伝わって逃げていた。追手をまいたものの折り悪くアルジェリア人狩りで警察に連行されたロベールは、あの《シトロエン・ギャング》とは知らずに放っておく警官たちのスキを見て銃を奪い、つきつけた。

「この俺を誰だと思っているんだ！」

そして今日もロベールは信用金庫を襲う計画を練っていた。そんな彼を見つめるマリネットの心をふと不安がよぎる。ロベールは彼女の不安を消すかのようにマリネットを抱きしめる。そして、いつものように仲間が彼の所へ集って来た……



アランドロン

友よ静かに死ね

カラー作品 ● フランス映画 ● 東宝東和提供